

令和6年度 自己評価結果公表シート

日知屋幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標 子どもの「自立」と「共生」の心を育む ○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標 1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。 2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に図る。 3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4. 安心して安全な幼稚園を保証するための取り組みに努める。 5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。 6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。
--

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	A	一人ひとりの姿を捉えながら、集団活動の楽しさや充実感を味わえる様、社会体験や制作活動などに取り組むことで、園児が夢中になる姿や見通しを持った行動など、「主体的」な行動が見られるようになった。
(2)道徳指導等の充実	B	相手を思いやる言葉遣いや態度、表情など具体的に伝えるようにした。一部、動画など内容の影響を受けていると思われる言葉遣いがあり、周囲が聞いて心地よい言葉遣いを心掛けるように説明したことがあった。
(3)基本的な生活習慣	A	基本的な生活習慣を理解し、一つひとつ丁寧に行動するよう呼びかけた。習慣化が継続されている様子が見られたら、時々その様子を認める言葉がけをし、更に励みになるようにした。
(4)安心して安全な幼稚園	A	避難訓練、防犯訓練を月1回実施し、遊具の使い方や園での過ごし方など確認した。隣接する保育園と合同で避難訓練を行い、それぞれに確認し合った。
(5)小学校との連携	A	幼保小連絡会等やオープンスクール、参観日など連携を図ることに努めた。校区内だけでなく、卒園児の進学先の学校での参観日等にも積極的に参加した。
(6)豊かな交流体験の充実	A	ボランティア活動の一環として来園した中学生との遊びや生活を体験し、普段接する事の少ない世代の人たちとの交流を経験した。未就園児教室の実施日を増やし、交流を深めた。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	少人数の中でも集団活動が充実できるよう取り組み、それぞれの個性や考えを尊重しながら持ち味を存分に発揮できるよう意識した。行事等で異年齢での活動が主体となる事が多かったが、各学年ならではの育ちや成長にも注目しつつ、日常的な「実体験」を積み重ねられるよう制作活動、社会見学などにも積極的に取り組むことで、園児の内面的な成長や学びを感じ取ることができた。これからは集団活動から導き出される「育ち」や「経験」を充実できるよう工夫、実践していきたい。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	教育理念の理解、確認と共に保育、生活に反映できるよう努める。
(2)道徳指導等の充実	日頃の気付きや関り、思いやりなどを大切にする心情や行動が反映できるよう働きかけ、人権啓発の研修等への参加を活かすことを大切にする。
(3)基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の指導の意識を高め、実行できるよう働きかけを工夫するように努める。
(4)安心して安全な幼稚園	定期的な安全点検、避難訓練の計画と共に日々の周囲の様子観察を意識する。
(5)小学校との連携	現在行っている連携に加え、幼保小中の連絡会での共通理解を深めていきたい。
(6)豊かな交流体験の充実	園内の園児同士の交流、様々な世代や地域の方々との交流を深めていきたい。